

令和6年度 第3回野洲市学童保育所運営協議会 会議録

- I 日 時 令和7年3月19日(水) 19:00~19:50
- II 場 所 中主防災コミュニティセンター 防災研修室A・B
- III 出席者 〈運営協議会委員〉
寺村 隆、岡田 真由美、稲田 吉行、徳田 照美、平松 睦、
(以上保護者会会長)
元岡 万季(三上小学校教頭)、奥山 寿美子(市民生委員児童委員協議会)
吉田 芳行(市自治連合会)、井狩 昭彦(市健康福祉部 政策監)
水谷 威彦(社会福祉協議会事務局長)
西村 幸雄、立田 裕子、梶谷 明美、杉本 邦子、山本 絵美、太田 千鶴
(以上学童保育所所長)
〈事務局〉
高岡 季博(事務局次長)
益田 研(学童保育課課長) 根本 潤子(学童保育担当)
〈市健康福祉部〉
浅田 智弘(課長)、村上 真規(こども課専門員)、今井 優希(こども課主事)
- IV 欠席者 田中 千尋(北野第1学童保育所 保護者会 会長)、

【内容】

- 1 開会
- 2 運営協議会会長あいさつ(吉田会長)
- 3 報告事項
(1) 令和7年度 野洲市こどもの家(学童保育所)入所申請状況について

事務局 運営協議会資料1-① ~1-③

資料1-① 入所状況

前回(12月19日)会議で受付終了後の状況をご説明いたしましたが、今回は3月17日現在の状況について、ご説明いたします。

前回、会議以降(12月16日)との差異9名増加については、保護者の就労形態の変更や家庭での保育状態の変更等の理由による辞退。また新たに就労等される事由や転居等での追加申込みもあり人数が変動しております。

3月17日現在

児童数については、総数で1,273名

内、通年保育児童が980名(全体の約77%割合)

資料については、前回会議と同様に、縦に学年別、横に小学校区別と、通年保育と季節保育、男女別の児童数で表しております。

縦の学年別では、

1年生が287名と新1年生の入所児童数としては過去最高人数であります。対前年度比でも52名増加しております。また学年別では1～4年生までが、総て200名を超える申込みがあります。

横の小校区では、

野洲と北野学区が300名を超えており、小学校と同様に市内では大規模な学童保育所となっております。

年度ごとに増減がありますが、令和6年度と比較しても全ての学区で前年より入所児童が増加しております。前年の利用人数が一番多かった5月1日と比較しましても、123名の増加しておる状況です。

資料1-② 在籍状況

学区別の一覧に続き、こちらでは、学童保育所の施設ごと（＝クラス）の人数を表しております。

学童名（施設名）と施設の定員 学年別の人数を一覧にしております。

各施設への児童のクラス分けについては、学区ごとに学年、男女、保育区分（通年・季節）の人数を考慮しながら、行っております。

但し、保護者の方の送迎の利便性より、兄弟姉妹は基本的に同じ施設に在籍するようにルールづけしております。

季節保育の期間（特に夏休み）においては、施設定員を超えて児童を受入する学童保育所が令和7年度も多くあります。

また同一小校区内で整備していただいている施設の定員が異なることもあり、利用する施設規模、利用人数に違いはありますが、違いに関わらず同一の保育を提供できるように体制を整えてまいります。

また施設（クラス）を超えての交流の機会を設けることで友達間の広がりをもてるよう努めているとともに、利用時間帯によっては、合同保育を取り入れてお子様への支援体制を強化して取り組んでまいります。

こどもの家(学童保育所)開所予定

資料1-③ 令和7年度のこどもの家（学童保育所）の開所予定について説明します。

通年保育は、4/1～R8.3/31の一年間 開所の必要な日

年間242日開所（前年より1日減）

運動会や土曜参観の振替休日、6年生の卒業式以降など、開所の必要な日については、早朝（7：30～）から開所して対応しております。

次に季節保育は、4月春休み、夏休み、冬休み、3月春休みの4季節期間があり

小学校の休業日とその前後の学校給食のない期間となります。

4月春休みは、2年生以上が、4/11（金）まで、新1年生については、学校給食の始まりが遅れるため、4/18（金）までが期間となります。日数で14日間ございます。

また、令和7年度夏休みの季節保育期間は、学校給食の終了が7/15（火）、開始が9/8（月）となることから、夏の季節保育の期間が、7/16（水）から、9/5（金）の間、日数で36日間ございます。

前年との比較では、4月春休みの季節保育で2日、夏の季節保育で4日の合計6日利用期間が増加します。

最後に「土曜保育」（資料の右下）

8月、11月が月間5日、その他の月は4日、毎土曜日開所し、年間で50日開所します。

その他、特別開所日として、日曜日に年間4日開所する予定もしております。

以上より令和7年度の学童保育所は、「土曜保育」「特別開所」を含め

開所日合計で、296日開所し、

内、保育時間 5時間未満の日 が 179日（60%）

6時間以上12時間未満の日 が 117日（40%）となります。

以上、令和7年度の学童保育所入所状況と開所の予定について説明とします。

よろしくお願いたします。

会長 ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

（質問なし）

(2) 令和7年度野洲市こどもの家（学童保育所）利用施設の予定について

ここでは、既存施設を上回る入所予定者のある北野学童保育所と中主学童保育所の施設利用について説明いたします。

事務局 運営協議会資料2-①～2-②

資料2-① 先ず、北野学童保育所ですが、利用予定の児童数が、327名（3/17現在）

既存施設 北野第1～4の合計定員数が200名であるところより令和7年度についても、今年度同様に北野小学校第1.2音楽室を第5の保育場所として、分割保育を実施します。

保育場所を「北野小学校音楽室1.2」とする児童については、今年度（令和6年度）は、2年生以上の季節保育児童と5.6年生の児童の合計77人でしたが、来年度、新1年生の児童数が76名と今年より20名以上増加しているところから、利用対象者を変更しまして、令和7年度は4年生以上の通年、季節保育児童を対象とします。

このことにより、既存施設（北野第1～4）に206人

小学校音楽室1.2 に121人

と、施設の規模に合った児童数の配分（クラス分け）になります。

また、「小学校音楽室1.2」は、年間を通じて使用します。

そのため、学校授業期間（小学校の授業日）は、小学校内の施設を時間帯で併用（タイムシェア）するため、学校の下校時間前は使用できません。

そのことより下校時刻の遅い高学年を対象としてクラス分けを行いました。

資料 2-② 次に、中主学童保育所ですが、利用予定の児童数が 247 名（3/17 現在）
既存施設 中主第 1～4 の合計定員数が 210 名であるところより、令和 7 年度は、新たに中主小学校 特別教室棟 1 階にある「多目的ホール 1」を使用して分割保育を実施します。

中主学童保育所は、申込み児童数 247 名の内、
通年保育児童 179 名、季節保育児童 68 名で構成されており、主に既存施設の定員をオーバーする季節保育（4 月春及び夏休み）の期間において分割保育を行います。

対象児童及び使用期間について説明いたします。

対象児童 : 4.5.6 年生の季節保育児童（44 名）
使用期間 : 4/1～4/11 の春季節 と 7/16～9/5 の夏季節

時間帯は、午前 7 時 30 分から午後 7 時まで（延長保育含む）と既存施設での保育時間と同様で、延長保育時間帯を含み、児童の保育に必要な全ての時間帯で開所する予定です。

使用する「小学校施設」については、裏面をご覧ください。
順に説明いたします。

中主小学校地図

場所は、左側中央にある特別教室棟の 1 階

下の位置図

左側の▼の矢印の箇所から出入り（児童の登帰所、保護者の送迎）していただき、
入ってすぐの「多目的ホール 1」を保育場所とします。
小学校の昇降口を経由せず、直接出入りできます。

また、同じ棟の 1 階にある「トイレ」「手洗い場」なども使用して、日中
子ども達が移動することなく同一フロア内で生活できるように配慮しています。

子ども達の過ごしについては、

多目的ホール 1 及び第 2 音楽室
多目的ホール 1 は、主な生活スペース 第 2 音楽室は静養室等
として使用して生活づくりをします。

新たに小学校施設を利用して分割保育を実施するにあたり、現在、子ども達が生活するのに必要な備品等の整備を進めています。

最後になりますが、北野、中主とも、小学校施設を使用しての分割保育を実施するのは、入所希望される児童を、保育を必要とする時間帯すべてにおいて子ども達を受入するためであり、施設の定員に応じた分割保育を実施することで、適正規模で安定した保育を実施するための措置であります。

半面、結果として保育場所の環境やクラスのメンバーが変わる子供さんが発生してしまうこと、また保護者の皆様におかれましては一部ご兄弟姉妹で保育場所が分かれる

ことにより、送迎の際にご不便をおかけすることになりますが、それぞれの保育場所において必要な指導員を配置し、安全で安心な保育の提供に努めて参ります。どうぞ、ご理解いただくとともに、ご協力をお願いいたします。

特に「中主学童保育所」につきましては、令和7年度から初めて学校施設を使うという取り組みになりますので、改めて対象児童の保護者の方に利用案内をさせて頂く予定をしております。

以上、説明といたします。よろしくをお願いいたします。

会長 ただ今の報告について、ご質問等ございましたらお願いします。

委員 今後子どもは減るけど学童保育所の利用者は増えていく中、子どもの増加に伴い、増築や新築などは予定があるのか？もしくはそういった検討はされるのか？教えて頂きたいです。

こども課 こども課の村上です。

今後5年間の子どもの見込みの数を出している所です。その中で学童保育所の利用数のピークはまだ続くのかなと考えております。ただし、それを過ぎると子どもの数が減ってくると見込んでおります。今のところ野洲は南口周辺整備と併せて建て替えを計画がありますが、北野では建て替えの予定はしておりません。非常に利用者の数は多いですが、一時のことなので学校の施設を使わせて頂きながらこのピークを過ごしていこうと考えております。

(3) 市内学童保育所の活動紹介について

前回(12月会議)に続き、最後北野学童保育所と祇王学童保育所の活動について、委員の所長より、報告させていただきます。では、「北野学童保育所 西村委員」「祇王学童保育所 立田委員」の順でお願いします。

委員 北野学童保育所の西村と申します。北野学童保育所の施設紹介と、全所合同での行事等についてお話しさせていただきます。

北野学童保育所は児童数の増加に伴い、北野第1・2学童保育所、北野第3・4学童保育所、北野小学校音楽室の3か所に分かれて生活しています。年間を通じて北野小学校からお借りしている音楽室には、通年保育期間は5・6年生、季節保育期間には5・6年生に加え、2年生以上の季節保育児童で生活しています。

音楽室には、学校課業期間中は放課後からしか入室出来ないため、毎日の保育準備は大変ですが、音楽準備室をお借り出来ているので、おもちゃや本、備品等はそちらに置かせてもらっています。20人ほどの高学年だけで過ごしているため、他の学童に比べるとのびのびとゆったり過ごしています。

生活している場所が3か所に分かれているので、毎日の外遊びに行く時間を全所で合わせて、所属の垣根を越えて交流が出来るようにしています。

春休みの行事から順にお話しさせていただきます。春休みは入所式から始まりました。小学校の体育館をお借りして、全員が一堂に会しての開催となりました。各所の1年生に前に並んでもらい、点呼をした後、2年生から入所のプレゼントを渡してもらい、盛大に新1年生を迎える事が出来ました。別日には、2年生以上が北野学童保育所の恒例となっているけん玉ダンスを披露してくれました。緊張感が伝わりましたが、今までの練習の成果を発揮し、かっこいい姿を見せてくれました。1年生を対象にした交通安全教室も開催

しました。交通安全協会の方から横断歩道の渡り方や、車の死角について等を話していただきましたが、持って来て頂いたパトカーに興味津々な様子でした。

次は夏休みの活動です。今年の夏休みは、コミュニティーセンターきたのが大規模改修中で利用出来なかったのも、ボランティアを呼ぶ事が出来ませんでした。どのようにして夏休みを過ごすか悩まされましたが、定期的なフロア交流の実施、北野シネマという学童保育所全体でのDVD鑑賞会の回数を増やす等して乗り切りました。夏休みの目玉行事は、数年ぶりの野外活動と、5・6年生が主体となって計画してくれた夏祭りの2つです。

野外活動の行先は、近江八幡市にある「水茎焼 陶芸の里」で、1～4年生は素焼きのお皿への絵付け体験、5・6年生はコップへの絵付け体験をしました。陶器に筆で絵を描くのは難しかったようですが、集中して取り組んだ作品を見て、それぞれ満足の行く仕上がりになった様子でした。短い時間ではありましたが、良い夏の思い出となりました。

夏祭りでは、5・6年生がお店屋さんとして活躍しました。全所一斉での開催は人数的に難しかったので、フロア単位での開催となりましたが、ゲームコーナー等の楽しい催しを考えてくれました。夏祭り当日はバタバタと忙しかったですが、みんなが喜んでいる姿を見てとても満足気でした。普段は高学年だけで過ごしているのも、こういった交流が出来る日を大切にしていきたいと思えます。

野外活動と夏祭りには、保護者会様より活動費や備品購入など様々な補助を頂きました。

冬休みはクリスマス工作として、家族と学校の先生へのクリスマスカードを作りました。先生たちへのプレゼントは、各所の代表が集まって職員室に行って直接手渡しをしました。校長室まで入れてもらう事が出来、子ども達も大喜びでした。先生全員分のプレゼントを作るのは大変でしたが、日頃の感謝を伝える良い機会となりました。

1月には不審者想定避難訓練を実施しました。不審者が運動場で遊んでいる子ども達の姿を、フェンス越しにスマホで撮影・声掛けをしたという想定で、不審者対応と児童の避難誘導が主な内容でした。初めての屋外での訓練でしたが、不審者役として参加していただいた守山警察署生活安全課の方からは「何を聞かれても情報を与えない事が重要。情報を与えない事で外遊びの時間に合わせて再度やって来る等の将来的な不安を防ぐ事が出来る」「複数人で対応し、相手よりも数の有利に立つように」といった指導をして頂きました。運動場で遊んでいる最中の訓練だったので、広範囲での職員間の情報伝達方法や学童保育所以外の避難場所を考える必要がある等、課題がたくさん見つかりました。今後もこういった訓練を積み重ねて、子ども達が安全に生活出来るように考えていきたいと思えます。

現在は春休みに開催する保護者を招いての「けん玉ダンスお披露目会」に向けて、子ども達は練習を気合十分に頑張っています。今年は保護者も参加可能な全員での「けん玉大皿チャレンジ」も計画しているので、当日はけん玉ダンスの見学だけでなく、一緒にけん玉を楽しめればと考えています。

令和7年度は児童数の増加に伴い、4年生以上が全員音楽室で生活する事になりました。音楽室の在籍人数が大幅に増えるので、生活スケジュールや利用方法が今年度とは異なる部分が出て来る等、工夫しないといけない事が沢山あるとは思いますが、子ども達の意見を聞きながら一緒に新しい学童保育所作りをしていきたいと思えます。

委員 祇王学童保育所の立田と申します。祇王学童保育所は、第1から第6まで5つの部屋に分かれて生活をしています。今年度の子どものたちの活動の様子を報告させていただきます。

普段の生活はそれぞれの部屋を基本に活動していますが、外遊びの時間はどの部屋も同じ時間に設定しているので、5所の子どものたちがそれぞれ好きな遊びをして過ごしています。

夏休みなどの長い時間を学童で過ごすときには、全所合同での行事なども盛り込み、いろいろなお部屋の子どものたちが一緒に活動できるようにしたり、学年別の活動として、「コミセンぎおう」をお借りしたりして、様々な活動を行いました。

夏休みの様子について報告させていただきます。1,2年生は明治乳業さんにお手伝いいただき、乳牛のお話とアイスのふたを使った工作活動をしました。乳牛はどれくらい大きいのか、実際の大きさのイラストと背くらべをしたり、牛乳のクイズに答えたりしました。そのあとに、アイスのふたを使ったコマづくりを教えてもらいました。1年生と2年生は同じ内容の活動を、時間をわけて別々で行ったのですが、どちらの学年も元気いっぱいクイズに答えてくれ、楽しく参加できました。

3年生は、走り方教室。どうしたらもっと速く走れるかを陸上の和田先生に来ていただき、大ホールで体を動かしました。うまく体を使うためのストレッチやトレーニングなど汗をかきながらの活動でした。夏休みは外の気温が高く、あまり外に体を動かす機会がなかったのも、この日は思う存分体を動かし、最後はみんなでリレーをしました。

4年生は、大阪ガスさんにお手伝いいただき、防災教室を行いました。今年の夏は、大きな地震に対して注意が呼びかけられたことがありました。もしもの時に、自分たちに何ができるか、どうすればいいのかを防災の本やクイズで聞かせていただきました。また、実際に食べることはできませんでしたが、保温ができるボトルを使ったスパゲッティ作りも教えてもらい、新聞紙を使ったスリッパの作り方を教えてもらいました。

5,6年生は、滋賀県交通安全協会さんにお手伝いいただき、自転車の交通安全教室を行いました。実際の自転車を使った、日ごろの点検の仕方や交通ルールの確認をして、自転車のシュミレーターを使ってきちんとできているか確認しました。

また、毎年恒例の夏祭りは、各部屋ごとに遊びのお店を準備し、お店当番をしながらあちこちのお店をまわって遊びました。クイズのお部屋やボウリング、パターゴルフや数字を順番にタッチするナンバータッチ、まど入れやコインおとしなど時間内にはまわりきれないくらいたくさんのお店ができました。どのお部屋もにぎやかに飾りつけもしてくれて、少し恥ずかしそうにしながらも元気にお客様を迎えてくれました。子どもたちは当番の時間を気にしながらも、いろんなお部屋のお友だちと楽しく過ごしてくれました。夏休みには他に、野外活動として「京都鉄道博物館」に出かけました。夏休みの大きな行事の一つとして、各部屋ごとに日程を組みました。事前に活動内容や、約束などしっかり学習し、当日を迎えました。目印になるように、お揃いの帽子をかぶり、出発。電車の模型を使った運転体験や、鉄道ジオラマなど2時間いっぱい楽しみました。子どもたちに人気があったのは軌道自転車の体験。祇王学童の子どもたちで長い列ができてしまいました。あとは、踏切の緊急ボタンが大人気。普段はなかなか押すことのできないものなので、ここにも子どもたちがたくさん集まりました。

普段の生活で、今年度から始めた交流遊びについて報告します。高学年の子どもたちから、部屋で遊ぶ時間も他の部屋の友だちと遊びたい！！という声があがり、だんだんと陽が落ちるのが早くなってきたころから、第3から第6まで他の「お部屋で遊んでもいいよ。」の交流あそびの時間を設定してみました。暗くなってくることがあり、お迎えもあるので棟が離れている第1さんとの交流はできなかったのですが、他の4つの部屋でスタート。初めのころはとりあえず、いろんな部屋を行ったり来たりしていたのですが、だんだんと、この部屋のこのボードゲームを2年生で遊びたい、この部屋のマンガをお友だちと一緒に読みたいなど自分なりの過ごし方ができてきました。冬休みなどは第1学童も込みで全館交流の時間も作り、いつもはなかなか遊びに行けない第1学童に子どもたちが殺到しました。あまり外遊びには行かない子どもたちも、自分のお部屋にお友だちが来てくれると、嬉しそうにおもちゃの説明をしたり、一緒に卓球をしたりする姿を見ることができました。子どもたちと、お部屋に入るとき、出るときにはきちんと挨拶しようねと約束をしているのですが、ほとんどの子どもたちが約束を守り、「ありがとう」や「行ってくる」など伝えてくれます。

今回のように子どもたちから出してくれる「やりたい」ことを伝えて、実現できるという機会を作っていけるよう、子どもたちからの意見にしっかり耳を傾け、子どもたちと一緒に楽しく過ごせるような学童保育所になれるよう、職員で力を合わせていきたいと思えます。

会長 素晴らしい活動をして頂いております。
このことも含めて、何かご質問があればお願いいたします。

(質問なし)

会長 では、その他についてよろしくお願ひします。

市健康福祉部 運営協議会資料

事務局 野洲市からご説明をさせていただきます。

お手元に「野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会について」の資料があるかと思ひます。こちらの委員会についてご説明させていただきます。

こちらは令和7年度に委員会の開催を考えております。この委員会は学童保育所の運営や実施期間や保育料などを検討する会議でございます。

裏面をご確認ください。こちらは野洲市の学童保育所の変遷をまとめた物です。一番左の列平成24年、それから平成29年、令和元年と今までこの委員会は3回実施してまいりました。平成24年の時にはこの学童の保育料の考え方・値段の決定の仕方について議論が行われました。実際の運営額から国や県の補助金を抜いた額を市と保護者の皆様が半々にしようとの時に決定しまして、現在もそれに応じて値段で設定しております。

その後、第2回では土曜保育を実施するようになり、第3回では改めて値段の大きな変動がないか等を検討した会議です。

最後にした第3回の令和元年から5年以上が経っております。現在物価高騰等々もあり、この状態で値段を半々という形が大きなズレが出ていないか等の検証をしたいという事で、令和7年度に会議を開催させていただきたいと考えております。

表面に戻っていただいて委員構成ですが、やはり保護者代表の方にも入っていただく必要があります。少しご負担にはなりますが、年に2回もしくは3回の会議を予定しております。保護者代表の方にお願ひしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

事務局

吉田会長さま、司会進行の大役ありがとうございました。

それでは、以上を持ちまして、令和6年度 第3回 野洲市学童保育所運営協議会を閉会させていただきます。

今年度の野洲市学童保育所運営協議会は今回で終了となります。

委員の皆様におかれましては、1年間 誠にありがとうございました。